当院では以下の研究を実施しております。

この研究は、通常の診療で得られた過去の記録を使って行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまのお一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

術前 CT 画像を用いた大動脈弓および弓部分枝の 3 次元形状自動解析と、脳血管内治療におけるカテーテルアクセス難易度との関連に関する後ろ向き観察研究

１．研究の対象

2021 年 4 月～2026 年 9 月に当院で、頸動脈ステント留置術、手首の動脈（橈骨動脈）からカテーテルを入れて行う脳血管内治療（脳動脈瘤の治療など）、または急性期脳梗塞に対する血栓回収療法を受けられた方

２．研究目的・方法

脳血管内治療では、足の付け根の動脈（大腿動脈）または手首の動脈（橈骨動脈）からカテーテルを入れ、大動脈とそこから分かれる首の血管を通って、治療する部位まで進めます。血管の形によっては、カテーテルを目的の血管に進めることが難しく、時間がかかる場合があります。

この研究では、治療前に撮影された CT 画像（造影剤を使わない胸部 CT を含みます）から、人工知能（AI）を用いて大動脈と首の血管の形を自動的に計測し、その計測の正確さと、カテーテルを目的の血管に進める際の難しさとの関係を調べます。将来の患者さまの治療において、適切なカテーテルの入れ方（穿刺する部位）を治療前に選べるようにすることを目指しています。

この研究は、すでに撮影された CT 画像と診療記録を用いて行うもので、新たな検査や費用のご負担はありません。なお、この研究は 2030 年 3 月 31 日までを予定しております。

３．研究に用いる試料・情報の種類

情報：治療前の CT 画像、年齢、性別、身長、体重、腎機能、病名、治療の内容（カテーテルを入れた部位、使用したカテーテルの種類、カテーテルを目的の血管に進めるまでの時間）、治療の経過、カルテ番号　等

４．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さまもしくは患者さまの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

東京品川病院　放射線科　森谷淳二（研究責任者）
住所：東京都品川区東大井 6-3-22　電話：03-3764-0511

（2026 年 10 月 2 日作成）